

40回目の節目を迎え、新たな未来へ走り出します！

祝 第40回記念 Kyoto演劇 フェスティバル

公募公演
参加団体
募集要項

申込締切
9月10日(月)
※消印有効

2019年2月3日(日)⇒17日(日) 京都府立文化芸術会館

概要 紹介

40年目の節目を迎える全国有数の演劇祭！

Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団を対象に、日頃の活動成果を競い合う研さん・技術向上の場として、また、府民に対して質の高い文化活動を奨励、振興する地域密着型の演劇祭として昭和54年より休むことなく開催し続けてまいりました。

また、全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として地域に定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。

公募公演の参加資格を拡大や、京都府内で行われている演劇祭などへの派遣上演の機会を設けるほか、今回は更に第40回記念プログラムを加えるなど、従来以上に充実した内容で、未来の関西演劇界のより一層の活性化を目指し開催いたしております。

第39回上演作品より抜粋



参加団体 募集説明会

① 8月 3日(金) 19時～

② 8月 20日(月) 19時～

会場：京都府立文化芸術会館ホール

前回より募集内容が変更となっておりますので、

今回も説明会を2回行います。

参加をご検討の方は是非ご参加ください。

【要：事前申し込み】

大人から子どもまで 毎日楽しめる
フェスを目指します！

第40回記念フェスに向けて、前回より様々な取り組みを実施しています。

従来は、「児童青少年部門」「一般部門」の2部門で日程を区切って開催していましたが、前回より部門ごとの<日程の壁>を取り払いました！

参加される「部門」だけでなく、上演内容や鑑賞対象をもとに、子どもから大人までが楽しめる充実のラインアップとさせていただく事により、毎日が幅広い世代の観客の皆さまに楽しんでいただけるフェスティバルとなる事を目指します！

お問合せ・お申込み

「Kyoto演劇フェスティバル」事務局

〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル 京都府立文化芸術会館内
TEL 075-222-1046 FAX 075-211-2013 E-MAIL kaikan@bungei.jp

主催 京都府・指定管理者 創[(公財)京都文化財団・(株)コングレ共同事業体]・Kyoto演劇フェスティバル実行委員会

第40回記念Kyoto演劇フェスティバル開催スケジュール(予定) リハーサル時間につきましては、上演時間+90分で予定しています。

2月	1日 [金]	2日 [土]	3日 [日]	7日 [木]	8日 [金]	9日 [土]	10日 [日]	11日 [祝]	14日 [木]	15日 [金]	16日 [土]	17日 [日]	23日 [土]	24日 [日]
部門	公募公演期間												特別企画	
内容			リハーサル [1団体]			リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]			リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	合同創作劇「百年のあぐび」 19時	合同創作劇「百年のあぐび」 15時
			1公演 [ホール]			1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]			1公演 [ホール]	1公演 [ホール]		
		リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]			1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]			1公演 [ホール]	1公演 [ホール]		
	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]		
	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]	リハーサル [1団体]	リハーサル [1団体]	1公演 [ホール]	1公演 [ホール]		

公募公演 募集要項

会場	京都府立文化芸術会館 ホール(定員 419名)
参加資格	参加団体は、関西に活動の本拠を置き、継続的に活動している団体(学校内の団体も含む)とします。 ただし、実行委員会で推薦された団体が参加する場合があります。
参加作品について	<p>開催部門 [児童青少年部門]…小学生から高校生までの鑑賞を主な対象とした作品。 [一般部門]…高校生から一般成人の鑑賞を主な対象とした作品。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●両部門共に参加作品のテーマは自由ですが、創作作品を奨励すると共に、演劇を初めて観る人達にも「演劇ってオモシロイ」と感じてもらえる作品を奨励します。 また、既成の作品の場合は原作者あるいは翻訳者の上演許可を得てください。 ●上演時間については60分以内(仕込時間を除く)の作品とします。 ●ホール各公演の幕間は20分間とします。そのため本番の準備時間については、10分以内の作品とします。 (大道具を含む舞台・照明・音響の仕込みはリハーサル時に行います。大道具等はリハーサル終了後に一旦舞台袖に移動します。) ●ホール上演作品のリハーサルは、一部を除き本番と別の日で予定しています。
経費負担	<p>【主催者が負担】会場使用料、付属設備使用料、舞台・照明・音響の人件費。共通リーフレット、チケット等作成費。 【上演団体が負担】下記の参加費ならびに舞台装置製作費、出演料、交通費、特殊設備 使用料、音楽著作物等上演に関する著作権料、稽古に要する費用、その他、主催者が負担する経費以外の一切の経費。</p> <p>■参加費(共通) ホール 26,000円[公演チケット150枚をお渡しします]</p> <p>上記のチケット配布枚数を越える分につきましては(1日券)1枚200円での販売となります(10枚単位でのお申込)。 また、上記配布分と合わせて合計300枚が上限となります。</p> <p>※下記に該当する団体は、別に定める活動概要・履歴等の資料を申込時に併せて提出の後、実行委員会での審査・承認をもって減免することが可能です。</p> <p>★学 生 団 体…大学・専門学校内に活動の本拠を置き、継続的に活動を行っている団体。 →参加料 10,000円</p> <p>★児童青少年団体…①小学生から高校生までを主な鑑賞の対象とした創造活動を行っている団体。 ②小学生～高校生が主なスタッフ・出演者の過半数を占め、創造活動を通じた育成を主な目的として活動を行っている団体。 →参加料 5,000円</p> <p>なお、入場料については下記のとおり予定しています。</p> <p>1日券:一般:1,000円 高校生以下: 500円(未就学児童は無料) 当日各200円増 通し券:一般:3,000円 高校生以下:1,500円(未就学児童は無料) 当日各500円増</p>
運営協力	<ul style="list-style-type: none"> ●参加団体決定後は、参加団体代表者会議を設け、運営について協議いたします。 ●開催期間中は、フェスティバル運営スタッフとして各団体2名程度の参加をお願いします。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●応募団体が募集数をこえた場合、また開催趣旨に沿わない内容が含まれている場合は、速やかに選考委員会を実行委員会内に設置し、申込書と添付資料を元に選考を行い、参加団体を決定いたします。 ●各団体の上演日時は、参加申込書に記載の可能日を元に、フェスティバル全体の構成を考慮し、実行委員会にて決定します。 ●参加が決定した団体は、フェスティバルでの上演後の2019年4月以降に府内各地域で行われます演劇祭などのイベントへ派遣上演を行っていただく場合があります。※派遣に係る、出演料を除く主な経費はフェスティバルが負担します。

大好評！ プレ・イベント

合同ワークショップ 第40回記念特別バージョン

子どもから大人まで
皆さん一緒に
劇場体験

第40回記念演フェス申込団体は **参加無料**

世代やジャンル、地域や団体の垣根を越えて舞台の上に大集合！

Kyoto演劇フェスティバルのメイン会場のホールを使って、ワークショップを行います。

今回は第40回記念特別バージョンとして「表現基礎」「発声基礎」「創造編」の非常に充実した内容です。

「ホールではどれくらいの声をだせばいいのか？」

「客席からどんな風に見えるのか？」

「物語の登場人物になりきるには、こうすればいいのか！」

などなど、やってみなくちゃわからない疑問や不安を、確かめてみましょう！

舞台上「目からウロコの大発見！」にも出会えるかもしれません。

是非是非ご参加をお待ちしております！！

表現基礎編 10/22(月) 16時/19時
定員各20名
講師 **高杉征司** 舞台上立つ上で必要な「演技」や「表現」についてのワークショップです。



発声基礎編 10/29(月) 16時/19時
定員各20名
講師 **飛鳥井かより** 舞台上での表現で重要な「発声」についてのワークショップです。



創造編 11/5(月) 16時/19時
定員各20名



講師 **イツセー尾形**
自分の「好きな作品(小説や音楽など何でも可)」を題材にして、その中の人物を演じてみましょう！

詳細は演フェスホームページ [http://www.bungei.jp/enfes/index.html] をご覧ください。

舞台創造アシスト事業

2018年11月～2019年2月 [本番前まで]

第40回記念演フェス申込団体は **派遣無料**

会場 各団体の稽古場まで出向きます！

より良いモノ創りを目指す皆さまへ、演フェスはどこまでもサポートします！

このプログラムは、演技・演出からその他芝居づくりの様々なところで悩みの演フェス申込団体に、演劇有識者・経験者が稽古場まで出向いてご相談を承るサポーター派遣サービスです。

「1日限りのコメンテーター」から指導やアドバイスなど、できる限りのサポートをいたします。

もちろん、具体的なアドバイスは不要でも、「ちょっと稽古場に緊張感を…」という時のネタとしてご利用いただいても構いません。よりよい舞台創造ができるよう、申込団体とスタッフが一体となって取り組みたいと思います。どうぞご活用下さい。

対象 第40回記念演フェス申込団体すべて

費用 無料 (主催者が負担します)

内容 ご希望の内容に応じて柔軟に対応いたします。
(演技指導・演出指導・道具等製作指導/など)

備考 ・劇団スタッフとして演出作業/等の依頼は、お受けできません。

※創造活動の補助的な役割となります。

・派遣回数は1団体につき3回までとなります。

登録講師一覧は演フェスHP [http://www.bungei.jp/enfes/index.html]

ご参照ください。

公募公演 関連プログラム

観劇の感動を伝え合う

「演じる」だけが演フェスではありません。お互いの舞台を観て感じた事の「伝え合い」を含めた他団体との交流も、演フェスは目指しています。

1団体につき、2作品を鑑賞していただき、演フェス終了後2週間以内にその講評(感想でも可)を提出していただきます。

相互鑑賞プログラム

今観た舞台をみんなでレビュー

舞台の幕が下りたら、再び緞帳の前に大集合！次公演への転換時間を利用して幕間トークを行います。観客の皆さんの感動や感想、質問など、ホットな意見を交わしましょう！

幕間トーク

この「出会い」を未来に繋げる

第40回記念演フェスを、もう一度振り返りましょう！それぞれの舞台の感想を語り合うだけでなく、出会いと交流を育み深める企画など、充実した時間となること間違いなし！(2019年3月に開催予定)

合評&交流会 「参加無料」

上記の関連プログラムは公募公演の参加団体は参加が必須となります。

お申込から演フェス本番・合評会までの流れ



第40回記念 Kyoto演劇フェスティバル プログラム紹介

児童青少年部門

関西全域から集った団体が、子どもたちへ演劇・人形劇を届けます。会館全体が子どもたちの活気で賑わう、演フェスの屋台骨を支える伝統のプログラムです。
(主な鑑賞対象 小学生～高校生)



公募公演プログラム

2019年2月3日[日]・9日[土]・10日[日]・11日[祝]・16日[土]・17日[日]

子どもから大人まで、幅広い世代で楽しめる人形劇から、涙なしでは観られない感動巨編まで、オリジナリティ溢れるバラエティ豊かな作品を広く募ります！



一般部門

関西全域で活動している団体が、日頃の努力の成果を披露する、一般成人の鑑賞を対象とした演フェスを代表するプログラムです。
(主な鑑賞対象 高校生～一般成人)

主な公募公演 関連プログラム (詳細は中面をご覧ください。)

- 合同ワークショップ** 世代やジャンル、地域や団体の垣根を越えて舞台の上に大集合！「表現」「発声」「創造」の3つ内容で開催します。
- 舞台創造アシスト事業** 芝居づくりでお悩みの演フェス申込団体に、演劇有識者・経験者が稽古場まで出向く、指導者派遣事業です。
- 相互鑑賞プログラム** 各団体の演出家や代表者が他の団体の公演を鑑賞し、感想や講評を行っていただきます。
- 幕間トーク** 各公演の終演後に演出家や代表者が舞台前で観客との感動や感想を分かち合います。
- 合評＆交流会** 今後のより良い活動と創造のため参加団体の皆さんで演フェスを振り返りましょう。

ロビー企画

演フェスは休憩中でも楽しむことができます！ホール公演休憩中でもお楽しみいただけるよう、下記のような企画を予定しております。

- 人形劇などの様々なパフォーマンスを開催します。
- 参加団体からご来場のお客様へのメッセージを掲示します。
- 各参加団体の日頃の活動内容や公演予告などを展示します。／ほか

その他企画

第40回記念をより一層盛り上げます。

演フェスをより盛り上げていくため、公募公演の開催期間中に下記のような企画を予定しております。

- 児童青少年のための特別企画(和室)。
- 中学・高校や大学の優秀校による招待公演。
- 最終日に参加全団体が舞台に再び集うグランドフィナーレ。／ほか

第40回記念特別プログラム

プロ×アマチュア合同人形劇 『ちっちゃいせかいの大冒険(仮)』

演フェス実行委員会のプロデュースにより、プロの人形劇団とアマチュア人形劇団・個人が協働し、完全オリジナルの舞台作品を上演します。

脚本 / 小林洋介(演フェス実行委員 / 人形劇団京芸)
演出 / 中田達幸(演フェス実行委員 / 演出家・俳優)
●出演は人形劇団京芸と以前に演フェスへ参加された事のある人形劇団・個人を中心とした関西全域のアマチュア人形劇団・個人。

2019年2月9日(土)
※公募公演のスケジュール内で開催
京都府立文化芸術会館ホール



U30 支援プログラム

「40年の節目。更新する3年間。」

京都で新たな才能に出会うためのプログラムを始めます。2019年～2021年の3年にかけて演フェスでの上演を含む、中劇場で上演するための舞台創造面、そして企画・制作面も含めた総合的なサポートも行う支援プログラムです。

より良い作品を創作するための3年間、より良いフェスにする「出会い」の3年間にしていきたいと考えています。

合同創作劇

『百年のあくび』

演劇経験の有無を問わず、広く参加を募り、集まった人たちが、ワークショップを経て、世代や地域を越えた“アツイ”チームワークで稽古を積み重ね、プロの演劇人・プロのスタッフと共に舞台上演を目指します！

2019年2月23日(土)・24日(日)
京都府立文化芸術会館ホール



作・演出
ごまのはえ



詳細は演フェスホームページ [http://www.bungei.jp/enfes/index.html] をご覧ください。

【実行委員会】

第40回記念Kyoto演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われております。

- 委員長 椋平 淳 (大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
- 委員 岡田 尚文 (京都西陣創造集団アノニム)
岡田 露子 (大阪大学演劇学研究室助教・エイチエムビー・シアターカンパニー)
木原 アルミ (パークース)
沢 大洋 (全国学生演劇祭事務局)
高杉 征司 (俳優 / サファリ・P)
田辺 剛 (下鴨車窓)
中田 達幸 (俳優・演出家)
小林 洋介 (人形劇団京芸)
中村さとし (京都児童青少年演劇協会)
森井 有子 ()
小谷 常 (京都人形劇センター)
中むら 昌タカ ()
森木 隆浩 (京都府文化スポーツ部文化芸術振興課 課長)
雨宮 章 (京都府立文化芸術会館 館長)

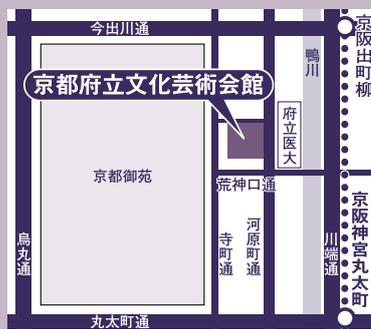
京都府立文化芸術会館

〒602-0858

京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046(受付時間 9時～18時)

【公式HP】http://www.bungei.jp/



- 【JR京都駅から】市バス4系統・17系統・205系統
【四条河原町から】市バス3系統・4系統・17系統・205系統
- 【三条京阪から】市バス37系統・59系統
【京都バス】21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅経由
※いずれも「府立医大病院前」バス停下車0分
- 京阪電車 / 「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
- ※駐車スペース(有料150円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

第40回記念 Kyoto演劇フェスティバル 〈公募公演〉参加申込書

① 団体名・参加希望部門等

2018年 月 日

団体名				
代表者	ふりがな氏名		TEL	FAX
	住所	〒	E-MAIL	
連絡先	ふりがな氏名		TEL	FAX
	住所	〒	E-MAIL	
参加希望部門・可能日程など	希望部門	<input type="checkbox"/> 一般部門 <input type="checkbox"/> 児童青少年部門		ジャンル 演劇 人形劇 その他()
	複数チェック可 可能日程	<input type="checkbox"/> 全日可能		
		<input type="checkbox"/> 2月3日(日) <input type="checkbox"/> 2月9日(土) <input type="checkbox"/> 2月10日(日) <input type="checkbox"/> 2月11日(祝) <input type="checkbox"/> 2月16日(土) <input type="checkbox"/> 2月17日(日)		
平日リハーサルの可否	<input type="checkbox"/> 平日昼間(13時~17時)は可能 <input type="checkbox"/> 平日夜間(18時~21時)は可能 <input type="checkbox"/> 平日のリハーサルはできません			

② 作品概要

上演作品について ※ 記入スペースがたりない場合は別紙に追記して提出してください。	作品名				予定 出演者数	予定 上演時間	予定 動員数
	作・脚色	<input type="checkbox"/> 創作 <input type="checkbox"/> 脚色 <input type="checkbox"/> 既成			名	分	
	スタッフ	団体内に専属のスタッフが居られるなど、申込時に決まっている場合はお書きください。					
		演出	舞台監督	照明	音響		
	作品のあらすじ						
	作品の ・見どころ ・特色 ・工夫						
	鑑賞対象 (複数チェック可)	<input type="checkbox"/> 未就学児童~小学校低学年		<input type="checkbox"/> 小学校高学年~中学生		<input type="checkbox"/> 高校生~一般成人	
上演に向けての抱負や意気込み、アピール等							

申込方法・締切 募集要項の記載内容に同意いただき、参加を希望される場合は、参加申込書に必要事項を記入の上、複写していただき、複写された申込書の写しに資料を添えて京都府立文化芸術会館内「Kyoto演劇フェスティバル事務局」までお申し込みください。なお、FAXや電話・メールによるお申し込みはご遠慮ください。 **締切/9月10日(月)※消印有効**

③ 団体概要等 ※記入スペースが足りない場合は別紙に追記して提出してください。

団体所在地				
創立年月日	年	月	日	
構成メンバー	構成人数	名	氏名	
団体の概要 ・創立の経緯 ・現在の活動状況 ・今後の予定など				
主な稽古場				
過去2年間の 公演実績 公演の内容がわかる資料 (チラシパンフなど)を 添付してください。	年	月	日 於	入場者数
	年	月	日 於	
	年	月	日 於	
	年	月	日 於	
	年	月	日 於	
演劇フェスティバル参加歴	参加回数 / 回			

参加料の減免	<input type="checkbox"/> 学生団体として減免を申請します。 (参加料10,000円)	<input type="checkbox"/> 児童青少年団体として減免を申請します。 (参加料5,000円)
	参加料の減免を希望される団体は、上記の該当欄をチェックしていただき、上記の団体概要に詳細をご記入いただくと共に、名簿(年齢のわかるもの)と活動実績(上記の公演実績とは別途に、地域でのイベント参加/等、公演以外の活動や発表など)など、減免を希望する団体である事を証明する資料を作成し、参加申込書と一緒に提出してください。 ※資料に不備がありますと、減免の適用ができなくなりますので、事前に事務局で確認を受ける事をお勧めします。	

舞台イメージ ※別紙作成可	
演フェスで取り上げて欲しい企画や企画のアイデア(皆様の提案が次回以降の演フェスで実現するかもしれません)	

添付された資料にチェックを付けてください(□企画書等 □台本 □公演DVD等)

※オリジナル作品での参加をご予定で、台本がまだ完成していない場合は、企画書にできるだけ詳しく作品の内容をご記入ください。

※応募多数の場合は、申込書の記載内容や添付資料を参考に選考を行いますのでご留意ください。

※提出資料につきましては原則返却いたしません。